

平成28年度 第10回全体庁議（2月2日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(3) へき地保育所の認可保育所等への移行について [こども未来部]
----	-------	--------------	---------------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

農村地域における安定的な保育の提供を行うため、へき地保育所の認可保育所等への移行について検討してきた。認可保育所等への移行後の保育サービスの内容などを検討するために行ったアンケート結果がまとまったので、今後の検討の方向性とあわせて平成29年2月13日の厚生委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 アンケート調査結果

- (1)目的 平成32年4月に認可保育所等への移行を予定しているへき地保育所について、今後の保育サービスの内容などを検討する際の基礎資料とするもの。
- (2)調査の方法
- ① 調査対象 現にへき地保育所を利用している方及びこれまでに利用したことがある方のほか、今後へき地保育所を利用する可能性のある方
 - ② 期 間 平成28年12月5日～平成29年1月10日
 - ③ 調査方法 大正・川西地区のへき地保育所、小中学校、農業団体・町内会等を通じて配布・回収
 - ④ 調査項目 乳児保育や延長保育、一時保育の利用希望など
- (3)回収結果 配布数:826件、回収数:294件、回収率:35.6%
(現在へき地保育所を利用している世帯 配布数:182件、回収数:120件、回収率:65.9%)

2 アンケート調査結果を踏まえた保育サービスの利用人数の推計

- (1)認可保育所等へ移行後の入所児童数の推計(平成32～36年度)
- 平成32～36年の0～5歳児の人口推計にアンケート調査結果の入所希望の割合を乗じて試算。
- (2)乳児保育、延長保育、一時保育、認定こども園(幼稚園機能)の利用人数の推計(平成32年度)
- 乳児保育については、平成32年度の0歳児の人口推計にアンケート調査結果の乳児保育の利用希望割合を乗じて試算。
 - 延長保育については、(1)の平成32年度の入所児童数にアンケート調査結果の延長保育の利用希望割合を乗じて試算。
 - 一時保育については、入所を希望しない人数にアンケート調査結果の一時保育の利用希望割合を乗じて試算。
 - 認定こども園については、(1)の平成32年度の入所児童数のうち3歳以上の人数にアンケート調査結果の認定こども園の利用希望割合を乗じて試算。

3 今後の検討の方向性

設備・運営基準上の職員の配置基準や国の補助基準上の利用人数等も参考にして、保護者や関係者の意見や運営経費の試算、現施設の状況などを総合的に勘案した上で、各保育所におけるサービス内容を決定するもの。

■今後のスケジュール

- ・ 平成29年2月 厚生委員会への報告
- ・ 平成29年2月 地域・保護者説明会の実施
- ・ 平成29年5月 基本調査の実施

■ 審議結果

- ・ 同内容で、2月13日厚生委員会へ報告することです承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし